

【稲沢市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

- ・測定日

令和6年8月28日から10月3日

- ・ネットワーク形態

センター集約型

- ・対象学校数

32校（小学校23校・中学校9校）

- ・必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

32校／32校 100％

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定の実施スケジュール

GIGAスクール構想におけるネットワーク整備、および1人1台端末の導入後、特定のアプリケーションによりセンター側のインターネット回線帯域を圧迫している状況であったため、オフロード回線の増強（1Gbps→10Gbps）を行った。しかしながら、一部学校でネットワークが遅く感じる事象が発生していたことから、令和6年8月から10月の期間でネットワークアセスメントを実施した。

- ・アセスメント対象：センター（本庁舎）および各学校

- ・対象機器：回線帯域、コアスイッチ、フロアスイッチ、無線アクセスポイント

- ・測定方法：1人1台端末からの測定、および保守事業者による測定ツールの利用

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

アセスメント実施済み

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

課題1：端末とアプリケーションの通信について

以下の時間帯にて、タブレット端末と以下アプリケーションとの通信が多数見られる傾向にあった。各端末の通信量が特別に多い状況ではないものの、時間帯によっては通信量が多くなっており、センター集約した際にトラフィックに負荷がかかり、通信に問題が発生していた。

- ・時間帯：平日の8時台、15時台、18時台、20時台

- ・特に通信が多いもの：Microsoftのアップデート・同期処理

：フィルタリングソフト、学習支援システム

上記について令和8年4月導入予定の第2期1人1台端末を導入する際、導入端末のOSや運用方法について検討する。

課題2：ローカルブレイクアウト構成の検討

今後、校務DXやアプリケーションのクラウド化が加速していく中で、課題1で述べたような通信の問題をセンター集約型のネットワーク運用の中で全て制御することには限界があると考えられる。令和8年9月末のネットワーク機器更新の際に、各校から直接外部接続が可能なローカルブレイクアウト型のネットワーク形態の導入を検討する。